

ブライダルプロが 婚活事業に吹き込む新風

株式会社華裳 代表取締役

中村康江さん

ブライダル貸衣裳の「ブライダルサロン華裳」とブライダルプロデュース事業「ブライダル図書館」を運営する「株式会社華裳」。1988年の会社設立時より、一貫してブライダルの現場に携わってきた。今年4月には「婚活応援システム ながのメイト」を立ち上げ、事業拡大と同時に少子化および非婚問題解決の一助になろうと名乗りをあげた。



■ アルバイトを機にブライダル業界へ

私がブライダル業界を目指したのは、県外で暮らしていた学生時代のアルバイトがきっかけでした。これから生涯を共にされるお二人のために最高の舞台を創り上げる醍醐味を体感し、「この業界で生きてゆきたい」と思ったのです。以来、業界一筋に歩み続け、起業前には結婚式場のマネージャーを任されるまで勤め上げました。

■ 婚活事業への進出と社会貢献

貸衣裳を手掛けてきた当社がブライダルプロデュース事業に乗り出したのは、息子からの提案がきっかけでした。実は、当初「うまく行くはずはない」と反対していたのですが（苦笑）、いざ蓋を開けてみると「ブライダル図書館」オープン初日から何組もの方にご来館いただき、以降は口コミで評判が広がって大変ご好評いただいています。そのノウハウと長年のブライダル関係企業様との信頼関係を活かした新たな取り組みが、「婚活応援システム ながのメイト」の運営です。当社の貸衣裳事業継続のためにご成婚される方の数を増やすことが第一の目的ではありますが、同時に、非婚化と少子化という社会課題を解決する一助になりたい、と考えてのチャレンジでもあります。



■ 地元限定！気軽＆安心なシステム

ここで「ながのメイト」の主な特長をご紹介します。長野県在住もしくは長野県出身の方がターゲットであること。入会金や月会費を頂戴しますが、ポイントとして貸衣裳や提携会場の「結婚資金」として利用していただけること。会員様は24時間専用ページでプロフィールが閲覧でき、メッセージのやり取りが直接できること。そして、気に入った方へのアプローチ段階からブライダルプロによる強力なサポートが得られること、等です。スタッフへの相談方法も婚活方法も、ご自分に合う好きな手段を選んでいただけるので窮屈な思いをされずに済むでしょう。ただし、トラブルなく安心してご利用いただけるよう、入会時の審査・確認は入念に行っています。



■ 石橋は叩かず、まず渡ってみる

「ながのメイト」もそうですが、新たな挑戦にはリスクが伴います。それでも、石橋は叩かずに渡ってみることにしています。ただし、現場に足を運ぶ労力や時間を決して惜しまず、自ら可能な限りの情報を収集・分析し、判断を下したうえでのことです。万が一、その後風向きが変わったと感じたなら、潔く退けばいいのですから。

「経営のコツや信念なんて考えたことはなく、自分が食べてゆくため、そして従業員を食わせるためにやるべきことを全力でやってきただけです」と、中村さん。現在は「ながのメイト」の運営を軌道に乗せるべく、経験と人脈を生かした精力的な取り組みを続けている。

中村康江（なかむら・やすえ）
株式会社華裳 代表取締役

長野市生まれ、長野市在住。仕入れや商談のために県内外を飛び回る時間が「いつもとは違う景色が見られてリフレッシュできる」と、休日も兼ねているそう。

